

平成 29 年 2 月 6 日

滋賀県がん診療連携協議会

平成 28 年度 第 3 回 がん登録推進部会 議事概要

日 時： 平成 29 年（2017 年）2 月 6 日（月） 16：00～17：00

場 所： 滋賀県立成人病センター 新館 1F 研修室

出席者： 稲富理、中川聖子（滋賀医科大学医学部附属病院）

廣瀬哲朗、森明子（大津赤十字病院）

沖野孝、柏本弘美（公立甲賀病院）

寺村康史、志井千明（彦根市立病院）

平良薫、大橋依子（市立長浜病院）

木原明生、寺田貴子、森山都子（大津市民病院）

伊藤良治、鯉江淳美（草津総合病院）

福森亮介（済生会滋賀県病院）

大西真（近江八幡市立総合医療センター）

吉田純（長浜赤十字病院）

太田裕之、太田悦子（東近江総合医療センター）

大橋信也（高島市民病院）

水田和彦、田中一史、嶋田宏之（滋賀県立成人病センター）

八木政廣（滋賀県がん患者団体連絡協議会）

欠席者： 片山政伸（済生会滋賀県病院）

土屋邦之（近江八幡市立総合医療センター）

楠井隆（長浜赤十字病院）

宮下久美（滋賀県健康医療福祉部健康医療課）

オブザーバー：

西川千春（公立甲賀病院）

太田加奈（彦根市立病院）

米澤寿裕（滋賀県立成人病センター）

（敬称略）

【議題等】

1. 10/13 成人病センターがん医療セミナー、プレセミナー開催報告【資料①】

- ◆ 成人病センターがん医療セミナー（医師会共催、参加者 65 名）で部会委員 4 名が発表した。
- ◆ プレセミナーでは 10 病院の実務者が自院の院内がん登録統計について発表した。

2. 5 年生存率算定のための実務研修会の開催予定

- ◆ 今年度の追加事業として、2/28 午後に成人病センターで開催する。
- ◆ 3/10 第 5 回研修会は、統計・新標準登録様式・新多重がんの定義をテーマに開催する。

3. 全国がん登録への届出にかかる留意点【資料②】

- ◆ 2015年分の地域がん登録届出は全国がん登録システムを利用してデータインポートし、エラーや警告等については各医療機関に確認修正の依頼を済ませているが、その内容をまとめて報告した。(全国がん登録担当より)

4. がん診療連携協議会ホームページへのがん登録情報公開について

- ◆ 「院内がん登録 2008年5年生存率集計施設別集計」について、協議会ホームページに説明を付けて公開するかどうかについて前回より検討してきたが、該当施設が2施設のみ(成人病センター・市立長浜病院)であること、統計対象症例の件数が少数で生存率値の信頼性が低いこと、病期分布が施設により異なることなどから、公開しないこととする。
- ◆ 生存率公開については患者会からの要望も強く、全国的にも公開の動きであるが、データの信頼性は重要であり、諸条件の異なる施設別の生存率の公開は慎重に行うべきである。
- ◆ 施設別というより、拠点病院全体で集計すべきである。
- ◆ 地域がん登録の届出のうち8割以上が拠点病院・支援病院の届出であり、重複の除外や生存確認調査を行っている地域がん登録の生存率を、本部会で評価・分析すればよい。
- ◆ 全国集計提出後の収集データの集計(2008-2015)の、年別・医療機関別・病期別・治療別等の集計について報告した。【資料③-1~4】
- ◆ ホームページへの公開には一覧表ではなく、部位別にまとめて公開する。また、部位別にコメントをつける。コメント付与には部会員医師等の協力を依頼する。
【資料③-5】
- ◆ 本部会にはがん医療・がん登録に詳しい委員が揃っていることから、今後は院内がん登録データだけではなく、地域がん登録統計についても評価・分析の対象としていく。

5. 平成28年度アクションプランの評価【資料⑤】

- ◆ 今年度PDCA指標の「がん登録情報の活用」については、実務研修会での統計演習と10/13プレセミナーにおける発表10件を評価する。
- ◆ その他事業計画どおりに進捗できたことから、評価「A」とする。

6. その他

- ◆ 第20回関西がんチーム医療研究会(3/4開催)について案内した。
- ◆ 2016年症例の登録から新標準登録様式に変更になり、全国集計提出〆切が昨年度より早まる(7月末予定)ことから、提出前の相互チェックを6月頃に行いたい。(来年度第1回部会前の実施になるかもしれない)

以上